

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、高校生のチカコと、歴史の教員をめざしている大学生の姉マサコとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A

チカコ：学校の授業、面倒だなあ。なんで勉強しなくちゃいけないの？

マサコ：何いってるの。知識や技術を身につけておかないと、将来困るでしょ。

チカコ：それはそうだけど……。そもそも私たちが受けているような学校教育は、日本ではいつから始まったのかな？

マサコ：江戸時代の寺子屋も、識字率の上昇に大きな役割を果たしたといわれるけれど、国民皆学を前提とした統一的な教育制度は、文部省設置の翌年に が公布されてから始まったといえるんじゃないかな。

チカコ：それ以前はどうなっていたの？

マサコ：近代的な教育制度とは異なるけれど、㉑書物を収集して知識の蓄積をはかったり、人材を育成したりすることは、古代以来ずっと行われてきているよ。

チカコ：そういえば、この間、遠足で足利学校に行ってきたよ。キリスト教の布教を目的として16世紀なかばに来航したイエズス会宣教師の は、ここを「坂東の大学」とヨーロッパに紹介したって聞いたよ。

マサコ：そうだね。でも、こうした学びの場は、すべての人々に等しく開かれていたわけじゃないよ。のちに近代的な教育制度が整備されても、男女の教育内容には違いがあり、学ぶ機会にも男女で差があったんだ。大学などの高等教育機関に進学できる女子は、ごく少数だったというし。

チカコ：㉒教育の歴史を振り返ると、みんなが等しく自由に学べるというのは、当たり前じゃないことがわかるんだね。

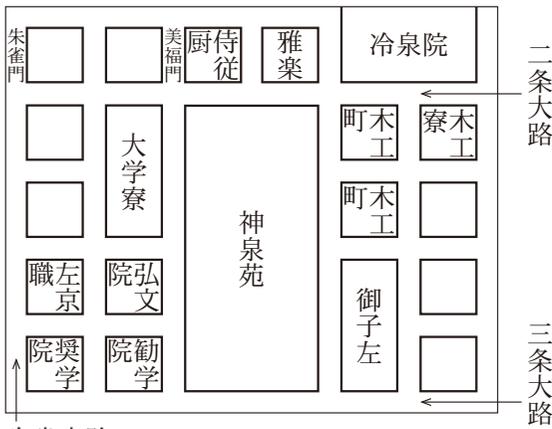
問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 学制 イ フランシスコ＝ザビエル
- ② ア 学制 イ ヤン＝ヨーステン
- ③ ア 教育令 イ フランシスコ＝ザビエル
- ④ ア 教育令 イ ヤン＝ヨーステン

問 2 下線部③に関連して、次の図1・2に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

図1 平安京左京の図の一部
 (『拾芥抄』(注)により作成)

図2 『続日本紀』の写本(部分)



朱雀大路

(注) 中世に成立した百科事典。

- X 図1には、藤原氏が設置した大学別曹の所在地が示されている。
- Y 図2の写本が収蔵されていた金沢文庫は、北条実時により設立された。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 3 下線部①に関連して、古代から近現代の教育について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 平安時代に空也が設けた綜芸種智院では、庶民も教育を受けることができた。
- ② 室町時代の地方の武士の子弟たちは、寺院などに預けられ、『読史余論』などを使った教育を受けていた。
- ③ 江戸時代には、町人たちが資金を出し合い、京都に町人教育のための懐徳堂を開いた。
- ④ 日中戦争が長期化するなか、小学校が国民学校に改められ、国家主義的な教育が強化された。

日本史B

B

チカコ：それにしても、なぜ歴史を学ぶ必要があるのかな？ 歴史を学んだり研究したりしても、経済的な利益や㉔技術革新には結びつかないから、そんなのは無駄だっていってる人がいたよ。

マサコ：それはとても貧しい発想だね。過去を顧みることは大切なことだし、だからこそ、過去の記録をまとめた歴史書が、昔からたくさん残されているんじゃないかな。

チカコ：確かに。この間、学園祭で模擬店を出した時に、先輩たちが残してくれた記録を参考にしながら準備したんだけど、これも過去の記録に学んでいることになるね。

マサコ：そうだね。だけど㉕過去の記録にもとづいた歴史書の中には、特定の目的のために記述されているものがあるから、すべてを鵜呑みにしてはいけないよ。

チカコ：なんだか難しいなあ……。

マサコ：だから、偏りのない幅広い知識が必要なんだよ。それに、社会状況によっては、特定の主義・主張に沿わない考え方が弾圧されることもあるんだ。たとえば、㉖歴史書としての『古事記』『日本書紀』の特質を明らかにした津田左右吉の著書は、発表当初も現在も、実証的な研究として評価されているけど、思想・言論の統制が強化された時期には問題視され、発禁処分を受けたこともあったんだよ。

チカコ：そうなんだ……。いろいろな考え方や立場が尊重されない社会なんて、とても窮屈で嫌だな……。偏った考えにおちいらないうちにも、いろんな知識を身につけないとね。

マサコ：やっぱり教育って大事だね。私も教員をめざして頑張ろう。

問 4 下線部㉔に関連して、海外からもたらされ、その後の日本に影響を与えた新たな技術に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

- Ⅰ 種子島時堯は、ヨーロッパ人のもたらした鉄砲の使用法・製造法を家臣に学ばせた。
- Ⅱ 豊臣秀吉の朝鮮侵略の際に連れてこられた朝鮮人陶工により、新たな製陶技術が伝えられた。
- Ⅲ 東大寺の再建に協力した宋人の陳和卿は、大陸由来の建築様式をもたらし

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 5 下線部㉕に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

- X この書物は、藤原氏の繁栄の歴史を描くことを目的に、かなを用いて著された。
- Y この人物は、仏教や儒教が伝わる前の、日本古来の思想や生活を究明する目的で、歴史書の研究を進めた。

- a 『今昔物語集』
- b 『栄華(栄花)物語』
- c 本居宣長
- d 伊藤仁斎

- ① X — a Y — c
- ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c
- ④ X — b Y — d

日本史 B

問 6 下線部㉔に関連して、次の史料に関して述べた次ページの文 a ~ d について、正しいものの組合せを、次ページの①~④のうちから一つ選べ。

6

史料

記紀の上代じょうだいの部分(注1)の根拠となっている最初の帝紀・旧辞は、六世紀の初めごろの我が国の社会状態に基づき、当時の官府くわんぷ(注2)者の思想しゆきを以て皇室の由来を説き、またいくらかの伝説や四世紀の終りごろからそろそろ世よに遺のこしはじめられた記録きこくやを材料として(注3)、近い世の皇室の御事跡ごじせきを語ったものであって、民族の歴史というようなものではない。そうして、其その中ちゆうでも特に上代の部分は、約二世紀の長い間いこく(注4)に幾様いこくの考かんがえを以て、幾度いこくも潤色じゆんしよく(注5)せられ変改せられて、今に遺のこっている記紀の記載きさいとなったのである。(中略)記紀の上代の物語は歴史では無くして寧ろ詩むしである。そうして詩は歴史よりも却かえってよく国民の内生活ないせいかつ(注6)を語るものである。

(津田左右吉『古事記及び日本書紀の新研究』1919年)

(注1) 記紀の上代の部分：ここでは、神武天皇以後の時代のこと。

(注2) 官府：政府・朝廷のこと。

(注3) 伝説や…記録やを材料として：伝説や記録などを材料として。

(注4) 約二世紀の長い間：津田が帝紀・旧辞が成立したと考える6世紀初めから、記紀が成立した8世紀初めまでの約200年間のこと。

(注5) 潤色：文章上で事実を誇張したり、とりつくろったりすること。

(注6) 内生活：思想のこと。

日本史B

- a 津田は、記紀の上代の記述には、記紀が編纂^{へんさん}された時代の人々の手が加わっていないので、史実とみなすことができると主張している。
- b 津田は、記紀の上代の記述には、記紀が編纂された時代の思想がよく表れていると主張している。
- c 史料の書籍が刊行された大正期には、吉野作造が民意を政治に反映させるべきだと主張した。
- d 史料の書籍が刊行された大正期には、三宅雪嶺らが『日本人』を創刊し、国粹(国粹保存)主義を唱えた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

第2問 古代国家の辺境支配に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 律令国家成立当初の①東北地方以北や九州南部以南の地域は、いまだ中央政府の支配下に組み込まれておらず、辺境と位置づけられた。辺境の人々は東北地方では蝦夷、九州南部では隼人などとよばれ、中央政府との対立を経ながら徐々にその支配下に組み込まれていった。

8世紀初め、中央政府は隼人の抵抗を抑え、九州南部に薩摩国、ついで を設置した。 では、720年に隼人が国司を殺害するという反乱が起きたが、それが鎮圧された後は、隼人の大きな抵抗はみられなくなった。

一方、東北地方に対しても、大化改新後、中央政府による支配領域拡大の動きが本格化した。東北地方の太平洋側では、改新後に陸奥国が設置されたと推測され、蝦夷支配を進めるために城柵が設けられた。その一つが724年に設置された多賀城で、ここには陸奥国府と がおかれた。②8世紀から9世紀にかけて造られた城柵については、発掘調査の成果から、東北地方以外の国府との違いや共通点がわかってきている。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 肥後国 イ 大宰府
- ② ア 肥後国 イ 鎮守府
- ③ ア 大隅国 イ 大宰府
- ④ ア 大隅国 イ 鎮守府

問 2 下線部②に関して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。

8

- a 東北地方では、縄文時代の遺跡として三内丸山遺跡が発見されている。
- b 北海道では、弥生時代になると水稲耕作が行われるようになった。
- c 南西諸島では、弥生文化とは異なる貝塚文化が展開した島々があった。
- d 種子島・屋久島は、10世紀になってから中央政府の支配領域に組み込まれた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

問 3 下線部①に関連して、国府と城柵の遺構を描いた次の図1・2に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。なお、図1・2はほぼ同じ縮尺である。

9

図1 国府(下野国府)

図2 城柵(徳丹城^{とくだん})



(注1) 館：国司の居館。

(注2)(注3) 曹司・官衙：役人が執務をする建物。役所。

X 図からは、下野国府にも徳丹城にも、政庁とは別に、役人が執務する施設が配置されていることがわかる。

Y 図からは、徳丹城は、下野国府とは異なり、政庁と役所などを囲む外郭を備えていることがわかる。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

B 蝦夷の抵抗は奈良時代以降も続いた。780年には、が反乱を起こし、多賀城を焼き討ちするに至った。多賀城は再建されたものの、これより後、蝦夷との戦いが長く続くことになった。

平安時代初め、征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂は、蝦夷の族長らを降伏させ、制圧した北上川中流域に胆沢城を、さらに北にを建設し拠点とした。ついで㉔嵯峨天皇は政治改革を進めるとともに、文室綿麻呂を將軍として蝦夷征討を行ったが大きな争乱とはならず、ここに蝦夷との戦いはひとまず終息することになった。

抵抗を続けた蝦夷の実態については、不明なところが多い。蝦夷自身が残した史料が現存しないため、㉕『日本書紀』をはじめとした史料から考えていくしかない。しかし、それは中央政府からみた蝦夷像であることに注意が必要である。蝦夷を支配下においているということが、国家の統治者としての天皇の権威を示すという点で、政治的に重要な意味をもっていたのである。

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|
| ① | ウ | 阿弋流為 | エ | 志波城 |
| ② | ウ | 阿弋流為 | エ | 秋田城 |
| ③ | ウ | 伊治皆麻呂 | エ | 志波城 |
| ④ | ウ | 伊治皆麻呂 | エ | 秋田城 |

日本史B

問 5 下線部㉔に関連して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

X 桓武天皇の時に行われた徳政相論(徳政論争)で、蝦夷征討の中止を主張した。

Y 唐風の書にすぐれた嵯峨天皇・空海とあわせて、のちに三筆の一人に数えられた。

a 藤原緒嗣 b 藤原仲成 c 橘諸兄 d 橘逸勢

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 6 下線部㉑に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 12

史料

小錦下坂合部連石布（注1）（中略）を遣わして、唐国（注3）につかい使せしむ。よりにて道奥（注2）の蝦夷男女二人をもちて、唐天子（注3）にみ示せたまつる。伊吉連博徳（注4）が書（注4）にいわ曰く、「（中略）、天子問いて曰く、『その国（注5）に五穀有りや』とのたまう。使人謹み答えて、『無し。肉を食いてわたら存活（注6）う』という。天子問いて曰く、『国に屋舎有りや』とのたまう。使人謹み答えて、『無し。深山の中にしてこのもと樹本（注7）にすま止住（注7）う』という。（中略）」という。

（『日本書紀』齐明天皇 5（659）年 7 月 戊寅（3 日）条）

- （注1） 小錦下坂合部連石布：このときに派遣された遣唐使の一人。「小錦下」は冠位の一つ。
- （注2） 道奥：陸奥のこと。
- （注3） 唐天子：唐の皇帝高宗。
- （注4） 伊吉連博徳：このときの遣唐使に随行した一人。
- （注5） その国：蝦夷の居住地。
- （注6） 存活う：生活する。
- （注7） 樹本：木の下。樹下。

- a 遣唐使が、蝦夷を連れて唐に渡ったことが読み取れる。
- b 遣唐使が、唐の皇帝に質問をする様子が読み取れる。
- c 蝦夷について、肉を食べ、山の中で樹木の下に居住していると説明されている。
- d 蝦夷について、穀物を食べ、建物に居住していると説明されている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

第3問 中世の社会に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 入浴と浴室の歴史は、古代から寺院と深くかかわっていた。平城宮跡では浴室と考えられる遺構も見つかっているが、天皇や有力貴族が建立した寺院にこそ、鉄釜を備える浴室が数多く造られた。

寺院の浴室は温室うんしつや湯屋ゆやとよばれ、僧侶たちによって心身を清めるために使われた。中世に入ると、僧侶集団が、寺院の運営にかかわる意思決定を行うための集会しゅうえを湯屋で開くようになる。㉔ 強訴など僧侶たちの決起行動が始まる場所になることもあり、湯屋は僧侶たちの結束を象徴する場となった。

中世の京都には、こうした寺院の内部施設ではない湯屋が、遅くとも鎌倉時代には出現してくる。これらの中には、㉕ 裁判のために地方の荘園から京都へやってきた百姓が立ち寄れるような、開かれた入浴施設もあった。

さらに戦国時代には、一条や正親町などの地名を冠した風呂が京都に散在するようになり、貴族も利用していることが、山科言継やましなときつぐの日記にみえる。浴室が寺院以外の場に広がっていく動きは、㉖ 中世の都市で顕著となったのである。

問 1 下線部②に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

X 延暦寺や興福寺などの大寺院は、僧兵を組織し、神輿や神木を押し立てて朝廷に要求を認めさせようとした。

Y 平安時代末期、朝廷が強訴を抑えるために地方の武士を大量に動員したことから、武家の棟梁の地位は低下した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 2 下線部①に関連して、鎌倉時代後期に紀伊国阿氏河荘の百姓たちが荘園領主への訴願のために作成した次の史料に関して述べた次ページの文 a ~ d について、正しいものの組合せを、次ページの①~④のうちから一つ選べ。 14

史料

阿氏河の上村百姓ら謹んで言上

(中略)

一、御材木の事、あるいは地頭の京上(注1)、あるいは近夫(注2)と申し、かくのごとくの人夫を、地頭の方へ責め使われ候えば、おま暇(注3)候わず候。その残り、わずかに漏れ残りて候人夫を、材木の山出し(注4)へ、出で立て候えば、逃亡の跡(注5)の麦蒔(注6)けと候て、追い戻し(注6)候いぬ。おれら(注7)がこの麦蒔かぬものならば、めこ(注8)どもを追いかめ、耳を切り、鼻を削ぎ、髪を切りて、尼になして、縄絆(注9)を打ちて(注9)、苛まん(注10)と候うて、責めせんごう(注11)せられ候あいだ、御材木いよいよ遅なわり候いぬ(注12)。

(『高野山文書』(注13))

(注1) 京上：京都にのぼる。

(注2) 近夫：近所で使役される役。

(注3) おま暇：余暇。

(注4) 山出し：山から引き出すこと。

(注5) 逃亡の跡：逃亡した百姓の耕地。

(注6) 追い戻し：百姓を山から帰らせ。

(注7) おれら：おまえたち。

(注8) めこ：「妻子」として妻と理解する説と、「女子」として女性と理解する説とがある。

(注9) 縄絆を打ちて：縄やひもで縛って。

(注10) 苛まん：他人の失策、法に背いた行いなどを叱責する。

(注11) 責めせんごう：責める、体罰を加える。

(注12) 御材木いよいよ遅なわり候いぬ：荘園領主への材木の納入が遅れてしまった。

(注13) 原文をひらがな漢字交りの文に書き改めた。

- a 史料を作成した百姓たちは、逃亡した百姓を連れ戻して麦を蒔かせるように命じられた、と述べている。
- b 史料を作成した百姓たちは、逃亡した百姓の耕地に麦を蒔くように命じられた、と述べている。
- c 史料を作成した百姓たちは、荘園領主から頻繁に使役されたため、材木の納入が遅れた、と主張している。
- d 史料を作成した百姓たちは、地頭から頻繁に使役されたため、材木の納入が遅れた、と主張している。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 3 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 多くの禅僧が招かれた鎌倉には、天童寺や建仁寺などが建立された。
- ② 大内氏の城下町山口には文化人が集まり、書籍の出版も行われた。
- ③ 奈良や堺では、大原女や桂女といった女性の行商人が進出した。
- ④ 京都の商工業者などからなる一向宗の信者たちが法華一揆を結んだ。

日本史 B

B 中世の地域社会では、経済力を蓄えた①武士の成長にも支えられながら、湯屋を持つ寺院の造営が増えていく。そうした寺院のなかには、近隣の住民たちに、入浴の機会を与える施湯せゆが行われることもあった。とくに畿内の村落では、住民組織が維持経費を負担する寺院内の湯屋や、荘園経営の現地機関である政所に隣接する湯屋も現れはじめた。

仏教が社会に浸透するなかで、摂津国有馬の温泉寺で、僧侶が湯治客を相手に温泉の由緒を語ったように、温泉は寺院と結びついて発展した。また、温泉の湯を遠隔地に運ばせる召し湯の習慣も有力武士に取り入れられた。

温泉の利用者は、貴族や武士にとどまったわけではない。②戦国大名などの定めた法令の中には、百姓らの温泉利用について規定したものがある。たとえば、温泉を使う人々の性別や仕事に応じて規制が加えられたり、湯治の旅人から銭を徴収する規定がみえる。③交通路の整備や物流の発展とあいまって、中世末期には湯治におもむく人々が広い階層におよんでいたのである。

問 4 下線部①に関連して、中世の武士に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① あいつぐ戦乱や武士の活躍を描く軍記物語が数多く作られた。
- ② 幕府の指示を受けて年貢などを奪い取る武士たちが、悪党とよばれた。
- ③ 地方の国人たちは、しばしば紛争解決などのために一揆を結んだ。
- ④ 農村で成長した地侍の中には、戦国大名の家臣になる者が現れた。

日本史B

第4問 中世末から近世における銀と鉄の生産や流通に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A ^{はいふきほう}灰吹法とよばれる精錬技術が導入されたことで、16世紀中頃から17世紀前半の日本は、世界有数の銀の産出国になった。当時のポルトガル人が作製した地図には、中国地方の 周辺に「銀鉦山王国」と記されている。この頃、東アジア市場に進出してきた①ポルトガル人・スペイン人・オランダ人などの日本貿易の重要な目的は銀の獲得であり、日本は生糸・火薬などを輸入した。

戦国大名は、経済力と軍事力の強化のために鉦物資源の開発に力を入れたため、大名間で銀山の支配をめぐる争いが発生することもあった。その後、天下統一を進める徳川氏は、 などの主な銀山を直轄化した。

②江戸幕府は、銀座で丁銀・豆板銀という銀貨を鑄造し、国内での通用を図った。一方、貿易においては、丁銀の使用を促した。その後、銀の国外流出量が増加し、17世紀中頃以降に銀の産出量が減少すると、幕府はさまざまな対策を講じた。18世紀には、幕府は を発し、長崎における貿易額を制限して銀の流出を防ごうとした。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 石見銀山 イ 海舶互市新例(正徳新令)
- ② ア 石見銀山 イ 相对済し令
- ③ ア 生野銀山 イ 海舶互市新例(正徳新令)
- ④ ア 生野銀山 イ 相对済し令

問 2 下線部②に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- Ⅰ 京都・堺・長崎の商人に、輸入生糸を一括購入させる制度が始まった。
- Ⅱ 幕府がスペイン船の日本来航を禁止した。
- Ⅲ 貿易に熱心な豊後の大名大友義鎮が、キリスト教の布教を保護した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部①に関連して、近世の貨幣について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 丁銀はおもに東日本、小判はおもに西日本で通用した。
- ② 小判は、取引のたびに両替商で重さを量って使用する貨幣であった。
- ③ 元禄時代、幕府は収入を増やすため貨幣改鑄を行った。
- ④ 松平定信は、南鐐二朱銀を鑄造して、貨幣制度の統一を試みた。

日本史B

B 近世には、砂鉄を原料とし、木炭を燃料とするたたら製鉄が発達した。たたら製鉄は近世以前より行われていたが、近世になると、鉄を精錬する炉は大きな建屋に覆われるようになり、炉内に送風する^{ふいご}鞴などの㉓技術改良も進んだ。また河川・水路の水流を利用して土砂と砂鉄を分離させ、砂鉄を採取する鉄穴流しが^{かな}用いられるようになった。これらのすぐれた技術によって、鉄の生産量が増大し、㉔村には鉄製農具が普及して農業の生産力が向上した。

しかし、たたら製鉄では、燃料として大量の木炭を必要としたため木炭用材が乱伐され、山が荒廃することもあった。また、鉄穴流しは、土砂の大量流出や水質悪化につながり、田畑に被害をもたらしたり、洪水を引き起こす危険性を高めたりすることもあった。

鉄は諸産業を支える重要な産物であったが、その増産は環境問題を引き起こし、人々の暮らしを脅かしていくこともあった。㉕たたら製鉄の維持と田畑・山林の保護を両立させることは、幕府や諸藩にとって重要な課題となった。

問 4 下線部㉓に関連して、近世における技術について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 桐生の織屋が独占していた高機(たかばた)の技術が、西陣などの各地に伝えられた。
- ② 佐賀藩は反射炉を築き、大砲を铸造した。
- ③ 入浜式にかわって揚浜式の塩田が瀬戸内海沿岸で発達し、塩の生産量が増大した。
- ④ シドッチによって活字印刷術がもたらされ、キリシタン版が出版された。

問 5 下線部㉑に関連して、近世の村・農業について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 村には本百姓のほかに、田畑を持たない水呑百姓も居住した。
- ② 農具として、深く耕することができる備中鍬が普及した。
- ③ 特産品として、紅花の生産が出羽でさかんになった。
- ④ 関東の村々では、江戸の間屋による木綿・菜種の流通独占に反対する国訴が組織された。

日本史B

問 6 下線部㉔に関連して、次の史料は、1823年に鳥取藩が鉄穴流しについて領内に通達した文書の一部である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

24

史料

一、近來日野川(注1)下、別して(注2)鉄穴砂^{かなな おびただ}夥しく流れ出し、川底高く相成^{あい}り、出水の砌(注3)は御田地・村々危急につき、種々御普請(注4)これあり候^{そうら}えども、只今の通りにてはその甲斐^{かい}これなきにつき、炬ならびに鉄穴場所取り調べ候^{ところ}処、近來莫大の員数(注5)相増し候。右の趣にては、遠からざる内、小鉄(注6)も払底^{ふつてい}に相成り、山林も伐り尽し、御郡中(注7)の衰微、眼前の事(注8)に候。

(『鳥取藩史』第6巻)

- (注1) 日野川：鳥取県西部を流れる河川。
(注2) 別して：特に。
(注3) 出水の砌：洪水の時。
(注4) 普請：土木工事。ここでは治水工事のこと。
(注5) 員数：炬や鉄穴の数。
(注6) 小鉄：砂鉄。
(注7) 郡中：郡内の村々。
(注8) 眼前の事：明らかなこと。

X この史料は、鉄穴流しによって川底が上昇したため、洪水対策を行ったところ効果があった、と述べている。

Y この史料は、炬と鉄穴流しを行う場所が増加したため、近い将来、砂鉄の枯渇と山林の荒廃によって村々が衰微する、と述べている。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史B

第5問 幕末から明治前期の民衆運動に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

江戸幕府がアメリカとの間で自由貿易を取り決める **ア** を締結し、ついでイギリスなどと同様の条約を結び自由貿易が開始されると、物価の高騰や流通の混乱などが引き起こされた。㉑ 幕府はこれに対処する経済政策を打ち出したが、あまり効果はなく、各地で一揆や打ちこわしが急増した。

幕末から明治前期にかけて、こうした政治や社会の混乱が民衆の不安を大きくした。長引く世情の不安定さから世直しを求めたり、明治政府成立後も従来の社会の仕組みを大きく変える諸政策に反対するなど、㉒ 為政者への不信を示す民衆運動が頻発した。

また国会開設を唱える土佐の **イ** など政治結社が各地で設立され、政府に対し民主的改革を要求する自由民権運動が全国的に展開した。しかし、㉓ 民権運動が行きづまると急進派の民権家が加波山事件や大阪事件などを起こし、さらに同時期の不況によって困窮した民衆が、民権家と結びついて蜂起する場合もあった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- | | | | | |
|---|---|----------|---|-----|
| ① | ア | 日米和親条約 | イ | 立志社 |
| ② | ア | 日米和親条約 | イ | 交詢社 |
| ③ | ア | 日米修好通商条約 | イ | 立志社 |
| ④ | ア | 日米修好通商条約 | イ | 交詢社 |

問 2 下線部㉔について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 金貨の改鑄を行い、これによって物価が下落した。
- ② 株仲間が物価高騰の要因になっていると考え、これを解散させた。
- ③ 薪^{まき}などの日用品の価格高騰を抑えるため、薪水給与令を出した。
- ④ 生糸などを、産地から横浜へ直接出荷することを禁じた。

問 3 下線部㉕に関連して、幕末から明治前期に発生した民衆運動や事件に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- Ⅰ 生糸の値下がりなどで打撃をうけた農民たちが、困民党とよばれる集団を結成し、高利貸・警察を襲撃した。
- Ⅱ 社会の先行きへの不安が募るなか、民衆が「ええじゃないか」と唱え乱舞した。
- Ⅲ 「血税」とは人の生き血を絞り取ることであるとの噂^{うわさ}が広がり、「血取」役人が来たとの情報をきっかけに、民衆が役所などを襲撃した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 4 下線部㉖が発生していたのと同じ時期に起きた出来事に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 太政官制が廃止され、新たに内閣制度が定められた。
- ② 洋画の分野で二科会が創立され、文部省美術展覧会(文展)に対抗した。
- ③ 三菱(三菱会社)と共同運輸会社が合併して、日本郵船会社が設立された。
- ④ 朝鮮で甲申事変(甲申政変)が発生し、清軍によって鎮圧された。

日本史B

第6問 近現代の風刺漫画について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)
(配点 24)

A 明治期の新聞・雑誌の中には、1875年の **ア** などで政府から弾圧を受けたものもあった。しかし、日清・日露の両戦争では、速報性の高い新聞号外や戦場の様子をセンセーショナルに報じる雑誌が人気を博し、戦争を支持する雰囲気をつくった。① 戦況を報道する従軍記者の中には作家も含まれていた。

他方で、政治や社会のあり方を、ユーモアを込めて批判する風刺漫画も、この時期にさかんになった。全ページ絵入り、カラー印刷を売りにした『東京パック』が人気を集め、北沢楽天きたざわらくてんらすぐれた漫画家が活躍した。しかし、多くの雑誌と同様に『東京パック』も戦争に肯定的な漫画を掲載している。戦争を批判する風刺漫画を大きく掲載したメディアは、『平民新聞』などごく少数であった。

② 日露戦争は国民に多大な負担を強いて行われ、戦時中の増税の多くは戦後も継続された。政府は国民の不満が社会主義思想の浸透につながることを恐れて社会主義への弾圧を強めた。1910年、多数の社会主義者が検挙される **イ** が起こったが、この事件で政府の対応を批判できた漫画はほとんどなかった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① ア 治安警察法 イ 三・一五事件
- ② ア 治安警察法 イ 大逆事件
- ③ ア 新聞紙条例 イ 三・一五事件
- ④ ア 新聞紙条例 イ 大逆事件

問 2 下線部②に関連して、従軍記者と戦争に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 30

- Ⅰ 『東京日日新聞』の岸田吟香^{きしだ ぎんこう}が、台湾出兵に従軍した。
 Ⅱ 博文館から派遣された田山花袋が、日露戦争に従軍した。
 Ⅲ 『郵便報知新聞』の犬養毅が、西南戦争に従軍した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部①に関連して、日露戦争後の外交について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 日本は、韓国の外交権を奪ったほか、漢城に統監府をおいて、伊藤博文がその初代統監となった。
 ② 日本を中心とする列国の軍隊によって、清国内の民衆反乱が鎮圧され、北京議定書が結ばれた。
 ③ 日本は、軍艦を江華島付近に派遣して朝鮮を挑発し、これを機に開国させた。
 ④ 日本は、韓国での権益を確保するために、ロシアと協調する外交路線ではなく、イギリスと同盟を結ぶ路線を選んだ。

日本史 B

B ㉔ 第一次世界大戦にともなう好景気を背景に、新聞・雑誌も発行部数を伸ばした。同時に、この時期に発行された総合雑誌は、自由主義・民本主義やマルクス主義に関する論説を掲載するなど、㉕ 大正デモクラシーの思潮をつくり出した。

風刺漫画でもこの思潮が顕著にみられた。この時期にマスメディアとして発達した大手新聞の漫画欄や、^{みやたけがいこつ}宮武外骨が創刊した風刺雑誌『赤』には、労働者階級の視点に立った風刺画が多く掲載されている。^{おがわじへい おかもといつべい}小川治平や岡本一平らは、㉖ 政治・社会を大きく変えようとする動きについてわかりやすく示した漫画を多く発表し、^{やなせまさむ}柳瀬正夢は『無産者新聞』などにアメリカのプロレタリア漫画を模した力強い漫画を寄稿した。このように風刺漫画は、権力批判だけでなく、当時焦点となっていたさまざまな問題の要点をわかりやすく示す役割も果たした。

問 4 下線部㉔に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 物価の急騰が賃金の上昇を上回り、労働者の生活を圧迫した。
- ② 債務国だった日本は、これを機に債権国になった。
- ③ 造船業など重化学工業が拡大する一方で、繊維産業は衰退した。
- ④ 輸入超過であったそれまでの貿易収支は、一転して輸出超過となった。

問 5 下線部㉑に関連して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

X 『東洋経済新報』の誌上で植民地放棄論(小日本主義)を展開した。

Y 民衆の政治意識の成長を促した総合雑誌として大きく発展した。

a 石橋湛山 b 北一輝 c 『白樺』 d 『中央公論』

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
 ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 6 下線部㉒に関連して、大正期の政治・社会に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 血のメーデー事件(メーデー事件)をきっかけに、破壊活動防止法が制定された。
 ② 第1次若槻礼次郎内閣は、ジーメンス(シーメンス)事件の責任を問われて総辞職した。
 ③ 労働組合が解散させられ、大日本産業報国会が結成された。
 ④ 護憲三派の提携が成立し、第二次護憲運動を展開した。

日本史 B

- C 日中戦争が全面化すると、国内には人的・物的資源を幅広く戦争に動員する総力戦体制が構築された。徴兵による労働力不足を補うために、㊦多くの国民が軍需産業をはじめとする重要産業に動員された。

漫画家ももっていた読者への影響力も、総力戦体制のなかに組み込まれていった。1930年代初頭まで労働運動を支持していた加藤悦郎^{かとうえつろう}は、1941年に建設漫画会を結成し、国策を喧伝^{けんでん}する漫画を描くようになった。1943年5月には日本漫画奉公会が結成され、明治期から活躍してきた北沢楽天が会長に、大正期に活躍した岡本一平が顧問に就任した。

敗戦後、GHQの改革が進むなか、再び権力を批判する㊧風刺漫画がさかんに描かれた。紙不足のなかでも、さまざまな雑誌が発行され、GHQの検閲で認められた範囲内ではあるが、政治に対する風刺漫画が多く掲載された。他方、戦時下に漫画家が行った戦争協力については、のちにその責任が議論され、漫画家自身のなかにも自らの責任について語る者もいた。

- 問 7 下線部㊦に関連して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

35

X アジア太平洋戦争(太平洋戦争)期には、未婚の女性が女子挺身隊に組織された。

Y 国家総動員法にもとづく国民徴用令によって、重要産業への国民の動員が行われた。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | X | 正 | Y | 正 | ② | X | 正 | Y | 誤 |
| ③ | X | 誤 | Y | 正 | ④ | X | 誤 | Y | 誤 |

問 8 下線部㉔に関連して、次の図は、1946年に発表された風刺漫画で、「田」の字の上であぐらをかいている人物にこん棒が振り下ろされている。この図に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。

36

図



(まつやまふみお画，湯本豪一『風刺漫画で日本近代史がわかる本』)

- a 図の人物は，地主を表している。
- b 図の人物は，小作人を表している。
- c この改革は，自作農の増加を目指した。
- d この改革は，自作農の減少を目指した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。